

- 【日 時】 平成 26 年 3 月 5 日
【訪問先】 釜利谷中学校 西嘉之校長先生
【概 要】 生徒数 597 名 18 学級 各学年 5 学級(2 年生のみ 6 学級)
特別支援学級 2 組 職員数 32 名

【視察報告】

1、校長先生のモットー

『当たり前前が当たり前前できるように』あいさつをする・時間を守るなど、社会を生きていくうえで当たり前前はたくさんあるが、その当たり前前を当たり前前できるようにできるような人間になる。

2、英語・国際教育の取り組み

外国籍の子や日本語が不自由な子は在籍していない。また英語教育に関しては、AET が常駐している。

3、地域のボランティアの協力

合唱・バスケットボールの指導は地域の方が行ってくれている。地域の着物教室の協力の下、男女を対象とした着付け教室がある。また、地域の教育推進員の方に協力してもらい、運動系の部活動をしている子供たちが主体となって、小学生に様々なスポーツを体験させる『ふれあいスポーツ大会』を開催している。

4、地域との防災の取り組み

地震・津波などの災害時の代替拠点物資保管場所になっている。地震を想定した訓練を年に 3 回行っている。

5、道徳教育や郷土愛を育む取り組み

クラス単位で合唱コンクールを行い、みんなで協力することの大切さを学んでいる。

6、体力強化や部活動の取り組み

体力強化に向けて、体育の授業の前に各自が目標を立てて筋トレに励んでいる。体育大会前になると、昼休みに大縄跳びの練習がある。

7、学校組織の強化・人材育成

小学校と中学校の先生同士で頻りに話し合いの機会を設け、小学校と中学校の授業に一貫性をもたせるようにしている。キャリア教育担当の先生がいる。地域の方に来てもらい職業講話をしてもらったり、自営業をしている方のお店で職業体験を行っている。

8、その他

お父さんが中心になって『おやじの会』を発足。もちつきや流しそうめん・ソフトボール大会や草刈りなど、様々な行事を通じて子供たちと交流している。お父さん同士の交流の場にもなっている。また、関東学院の学生が授業のサポートにきてくれている。



【所感】

地域の方の支援が強力で、子供たちが様々な体験をできる行事が数多く用意されていた。また早い段階から自分の将来について熟考するために、担当の先生を配置・職業体験の実施など、キャリア教育に力を入れていた。